

生研フォーラム
「宇宙からの地球環境モニタリング」
第7回プログラム

日時:平成8年11月18日(月)10:00-17:15

11月19日(火)10:00-15:30

場所:東京大学生産技術研究所第一会議室

港区六本木7-22-1

平成8年11月18日(月) 10:00-17:15

開会挨拶 (10:00-10:10)

高木 幹雄(東京大学生産技術研究所)

衛星データセンター構想(10:10-10:50)

1.『衛星データセンター構想』(10:10-10:20)

高木 幹雄(東京大学生産技術研究所)

2.『リモートセンシング画像データベースの構築とその利用法』(10:20-10:35)

根本 利弘・喜連川 優・高木 幹雄(東京大学生産技術研究所)

3.『GMS S-VISSR データの幾何学的歪補正』(10:35-10:50)

井戸 大治・高木 幹雄(東京大学生産技術研究所)

ADEOS サイエンス(10:50-11:10)

下田 陽久(東海大学情報技術センター)

重点領域 衛星計測による水・エネルギーフローの解明(11:10-11:20)

1.『重点領域の全体説明』(11:10-11:20)

小池 俊雄(長岡技術科学大学)

研究項目 A 多様な地表面における熱水収支の動態の研究(陸域班)(11:20-11:50)

代表者 小池 俊雄(長岡技術科学大学)

全体説明(11:20-11:25)

代表者 小池 俊雄(長岡技術科学大学)

1.『衛星による大陸スケールの地表面湿潤度・積雪の時空間分布特性の把握』(11:25-11:50)

小池 俊雄・吉本 淳一・伊賀 崎圭・飯島 義之(長岡技術科学大学)

塚本 賢明((株)ニューミュージック)

柴田 彰(NASDA EORC)

昼食(11:50-13:00)

研究項目 B 大洋域における水・熱・運動量収支の動態の研究(海洋班)(13:00-13:50)

代表者 久保田 雅久(東海大学海洋学部)

全体説明(13:00-13:05)

久保田 雅久(東海大学海洋学部)

1.『大洋域における水・熱・運動量収支の動態の研究』(13:05-13:00)

久保田 雅久(東海大学海洋学部)

2.『西部熱帯太平洋暖水プールのラグランジュ的熱収支解析』(13:30-13:50)

淡路 敏之・美山 透・秋友 和典(京都大学理学部)

研究項目 C 地球大気系の放射と雲・降水場に係わる大規模構造の研究(13:50-14:55)

代表者 中島 映至(東京大学気候システム研究センター)

全体説明(13:50-13:55)

中島 映至(東京大学気候システム研究センター)

1. 『GMS-5 を用いた雲統計 —その現状と今後の予定—』(13:55—14:15)

高村 民雄・岡田 格(千葉大学環境リモートセンシング研究センター)

2. 『雲型と大気上端での放射収支—Split Window と ERBE の解析』(14:15—14:35)

井上 豊志郎(気象研究所)

3. 『衛星データと放射モデルを用いた雲の放射強制力に関する研究』(14:35—14:55)

對馬 洋子(東京大学気候システム研究センター)

コーヒーブレイク(14:55—15:20)

研究項目 D 人間活動による植生変化とその気候変動に及ぼす影響評価(植生班)(15:20—16:30)

代表者 高木 幹雄(東京大学生産技術研究所)

全体説明(15:20—15:25)

柴崎 亮介(東京大学生産技術研究所)

1. 『大量衛星データの自動モザイク手法の開発』(15:25—15:45)

柴崎 亮介・岩男 弘毅・高木 方隆(東京大学生産技術研究所)

2. 『気候温暖化と環境・植物生産力』(15:45—16:30)

内嶋 善兵衛(宮崎公立大学人文学部)

研究項目 E 衛星データと数値気候モデルの結合による気候システム変動の研究(モデル班)(16:30—17:15)

代表者 木本 昌秀(東京大学気候システム研究センター)

全体説明(16:30—16:35)

木本 昌秀(東京大学気候システム研究センター)

1. 『マイクロ波放射計データの数値予報モデルへの直接的同化について』(16:35—16:55)

青梨 和正(気象研究所)

2. 『衛星による積雲面積情報と分布型融雪流出モデルを用いた広域降雪特性抽出の試み』(16:55—17:15)

陸 旻皎・吉岡 喜浩(長岡技術科学大学)

懇親会(17:30—)

平成8年11月19日(火) 10:00—15:30

マイクロ波センサーの利用(10:00—11:00)

1. 『マイクロ波センサを用いた土壌水分量と地表面粗度の抽出』(10:00—10:20)

仲江川 敏之・虫明 功臣・小池 雅洋(東京大学生産技術研究所)

沖 大幹(東京大学生産技術研究所)・三枝 修平(東京大学大学院)

2. 『複合マイクロ波センサーによる降雪量観測のための基礎的研究』(10:20—10:40)

藤井 秀幸・小池 俊雄(長岡技術科学大学)

3. 『Paddy Monitoring in Japan by Jers-1 L-band SAR Data』(10:40—11:00)

土地利用(11:00-12:00)

1. 『Estimating Population with DMSP/OLS Nighttime Data』(11:00-11:20)

中山 幹康(宇都宮大学農学部)

2. 『Spatio-Temporal Interpolation by Intergrating Observational Data and a Behavioral Model』

(11:20-11:40)

Shabo Huang (千葉大学環境リモートセンシング研究センター)

Ryosuke Shibasaki(東京大学生産技術研究所)

3. 『東南アジア環境リモートセンシングにおけるリモートセンシングの重要性と問題点

——インドネシア、マレーシアを見て——』(11:40-12:00)

吉村 充則(京都大学東南アジア研究センター)

昼食(12:00-13:30)

画像データベースの構築と利用(13:30-13:50)

- 『NOAA AVHRR GAC データによる時系列データの作成について』(13:30-13:50)

本多 嘉明(千葉大学環境リモートセンシング研究センター)

コーヒーブレイク(13:50-14:10)

地球環境保全に関する土地利用・被覆変化研究(LU/GEC)プロジェクト(14:10-15:30)

1. 『地球環境保全に関する土地利用・被覆変化研究(LU/GEC)』(14:10-14:30)

大坪 国順(環境省国立環境研究所)

2. 『中国の土地利用変化に関するデータセット及びモデルの構築』(14:30-14:50)

箕 健新(南京師範大学)

3. 『LU/GEC インドネシアモデルについて』(14:50-15:10)

守田 秀則(香川大学農学部)

4. 『LU/GEC 長期プロセスグループの概要』(15:10-15:30)

氷見山 幸夫(北海道教育大学 旭川校)